



参加者の中には「100個以上収穫した!」というつわものも。

ツバキの種 たくさん Get だけ!

つばきをまるごと知ろう

9月6日(日)、野々市中央公園でツバキの種の収穫体験があり、親子20人が参加しました。このイベントを主催したのは、ツバキを活用した商品開発や販売を行っている市民活動団体のe-やん。子どもたちにツバキの魅力と活用方法を伝えたいという思いで開催しました。子どもたちが収穫したたくさんの種は、陸前高田市の作業所へ送り油に加工されるそうです。500mlのペットボトル1本分の種でやっと100gの油になるとの話を聞いて、参加者は驚きの声をあげていました。

国の違いで同じ動きが違う意味に?

身振り手振り~日本とイギリスのジェスチャー

8月22日(土)、日本とイギリスのジェスチャーの違いを学ぶ異文化講座が学びの杜のいちカレードで開催され、市民20人が参加しました。市国際交流員でイギリス出身のエドワード・ミルナーが講師を務め、海外の映画やドラマでよく見る「Air quotes (両手をチョキにし、指を2回曲げる)」や「Eye roll (目を上にそらす)」などのジェスチャーを由来や使用例とともに紹介。参加者は「映画などで何となく見ていたが、そういう意味だったとは」と驚いていました。



意味が気になった人は、ぜひ一度調べてみてください。



同点ゴールを決め、観客2,764人の期待に応えた加藤選手。

サポーターの応援を力に!

野々市市ホームタウンサンクスデー

9月5日(土)、サッカーJ2リーグ・ツエーゲン金沢のホームタウンサンクスデーが西部緑地公園で開催され、無料招待された多くの市民が観戦を楽しみました。リーグ首位を走るV・ファーレン長崎に1点を先制される苦しい展開となりましたが、後半4分にFW加藤選手のゴールで同点に。試合は1-1の引き分けとなりましたが、ゴールポストに当たるシュートを放つなど、何度も相手ゴールを脅かしたツエーゲン金沢が力強いプレーを見せ、会場は大いに盛り上がりました。



浴衣姿の子どもたちもチラホラ。楽しそうですね。

家族でほっこり夕涼み

1の1マルシェ 夕涼み Market & 子ども縁日

にぎわいの里のいちカミーノで8月21日(金)と22日(土)の両日、市観光物産協会のイベントが開催されました。新型コロナウイルスの影響で子ども向けのイベントが少なくなる中、安心して楽しめる場を提供し、夏休み最後の思い出にしておこうと企画しました。テント市やキッチンカー、射的や千本つりなどのゲームが立ち並び、子どもたちの楽しそうな歓声が会場全体に響き渡ります。この日は秋を思わせる風が吹き渡り、大人から子どもまで大満足の様子でした。

まちな話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

スポーツの秋を楽しもう!

体力テスト&ニュースポーツ体験会

9月12日(土)、市民体育館で体力テスト(成年の部)とニュースポーツ体験会を開催しました。このテストは、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・急歩・立ち幅跳びの各種目の測定を通して、体力年齢を知る機会となっています。今年も多くの市民が参加し、さわやかに汗を流していました。また、幅広い層が気軽に参加できるニュースポーツの体験会も合わせて行われ、この日はポッチャとフレッシュテニスを楽しみました。

体力テスト(高齢者の部)は、10月21日(水)の9時30分から開催を予定しています。皆さんも参加して、自分の体力を知る機会にしてみませんか。



1 反復横跳び 2 パラリンピック正式種目として注目を集める「ポッチャ」
3 立ち幅跳び 4 テスト毎にしっかり消毒を行っています 5 握力測定



住民約60人が新たな囲いの中の地蔵に手を合わせました。

「子守り地蔵さん」を雨風から守る

丸木子どもの広場の地蔵堂に囲いを新設

押野五丁目の地蔵を雨風から守る囲いを丸木町会が新たに設置し、8月19日(水)の地蔵まつりで披露しました。この地蔵は、約45年前に女児がトラックとの事故に遭った際、はねられた拍子に地蔵のほこらに入り軽傷で済んだことから「子守り地蔵さん」と呼ばれ親しまれています。囲いは(有)高田商会が施工。また、費用の一部として10万円の寄附を行いました。(有)高田商会代表取締役の高田幸一氏は「今後も市内の各町内会を手助けしていきたい」と話しました。

クリエイティブな発想力を身につけよう!

こどもミュージアム KID's ラボ 2020

8月21日(金)、こどもミュージアム KID's ラボ 2020が開催されました。グローバルを学ぼうをテーマに、前半はフィンランド・デンマーク・スウェーデンの北欧3カ国をクイズ形式で紹介。「学校でテストが無い」「トイレの入り口が男女一緒」など、日本との違いを学びました。後半はプログラミングを体験。空港に見立てた場所からスタートし、世界各国を巡るコースをロボットに走らせました。子ども達は「ちょっと曲がるのが早かった!」と試行錯誤を繰り返していました。



思った通りに進むかな? 確かめながらプログラムを修正します。